

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第99号	
事故等種類	火災	
発生日時	平成21年7月31日 16時15分ごろ	
発生場所	福岡県大牟田港の北西方2,000m付近	
事故等調査の経過	平成21年8月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 漁船 ^{あきかぜ} 朗風丸、4.97トン 船舶番号、船舶所有者等 F03-56037（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	機関室内壁、配線、海水ポンプ、バッテリー2本を焼損	
事故等の経過	本船は、船長1人が乗り組み、福岡県大牟田港外の初島南方沖でくらげ漁を行ったのち、漂泊して漁獲物の整理中、平成21年7月31日16時15分ごろ、機関室から出火した。 本船は、バケツで消火作業を行い、16時44分ごろ鎮火し、主機に損傷はなかったが、僚船にえい航されて帰港した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 2	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 錨巻揚機駆動用電源のプラス側配線が切断し、その一部が金属部分と接触して火花を生じ、発火した可能性があると考えられる。 同配線は、海水ポンプ駆動用Vベルトと接触して、摩擦により切断した可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が初島南方沖で漂泊中、錨巻揚機用電源のプラス側配線が、海水ポンプ駆動用Vベルトと接触して摩擦により切断したため、その一部が金属部分と接触して火花を生じ、発火したことにより発生した可能性があると考えられる。	